

# 職員診断に基づく当事業所自己評価表

H29年度

		チェック項目	評価	評価内容・改善目標など
環境・体制整備	1	利用定員と事業所スペースとの関係性は適切か	A	指導訓練が行えるスペースは確保されている
	2	職員の配置人数は適切か	A	利用する児童全員の動きを把握出来るよう職員配置を行っている
	3	事業所の設備にバリアフリー化などの配慮がされているか	B	可能な範囲のバリアフリー化はされているが、建物の構造上、一部変更に苦慮するところもある
業務改善	4	業務改善向上のために広く職員が参画しているか	A	日々の活動をより良くしていくための意識の共有、意見の出し合いなどを行っている
	5	アンケート調査などを実施し、保護者の意向などを業務改善に繋げているか	A	保護者への評価アンケートを実施したり、その結果を踏まえた検討、改善を行っている
	6	第三者による外部評価を行っているか	C	現時点での外部評価実施は無く、今後の検討課題
	7	職員の資質向上を図る為、研修などに参加しているか	A	可能な範囲ではあるが研修参加、実施を行っている
適切な支援の提供	8	支援計画作成に際し、アセスメントを適切に行い、反映させているか	A	計画作成における一つの土台資料としている
	9	適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	B	標準化されたツールかは疑問符だが、外部で作成された内容を基に、アセスメントを行っている
	10	活動プログラムの立案をチームで行っているか	B	チーム分けはしていないが、各ジャンル担当の提案を職員間で検討し、考慮している
	11	活動プログラムが固定化されない工夫を行っているか	A	曜日別による活動の流れは、ある程度決まっているが、細かな内容については、変化を持たせている
	12	平日、休日、長期休暇に応じた課題を、きめ細やかに設定しているか	B	おおまかな設定はしているものの、その場の状況に応じて流動的な課題の設定を行っている
	13	個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、個別支援計画を作成しているか	A	児童の状況に応じ、個別と集団活動のバランスを考慮している
	14	支援開始前にその日の支援内容や役割分担の確認などを行っているか	B	各職員の役割分担はあらかじめ設定しているが、状況に応じて支援内容や役割の確認を行っている
	15	支援終了後に、その日の反省会などで情報共有を行っているか	A	業務終了後、気になる点、伝達事項などを職員間で共有を図るようにしている
	16	日々の支援に関して記録を取り、支援の検証・改善につなげているか	A	それぞれの記録担当を職員に振り分けし、担当職員がその児童についての支援内容を検証している
	17	定期的なモニタリングにより、支援計画の見直しの必要性を判断しているか	A	期間を設定し、その期間のモニタリング結果を基に、次の支援計画を作成している
18	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	A	事業所における方針と内容が近いので、実施されている比率が高い	
関係機関や保護者との連携体制	19	担当者会議の出席にはその子供の状況に精通したものが参画しているか	A	会議には状況を知り得る者が出席するようにしている
	20	学校側との情報共有、連絡調整を適切に行っているか	B	学校にもよるが、可能な限り情報の共有などを行うようにしている
	21	就学前に利用していた保育・療育機関との間で情報共有などを行っているか	C	現状では保護者からの聞き取りが主となっていて、直接、機関との連絡はしていないことが多い
	22	卒業後の障害福祉サービス事業所などへの移行時に情報提供などを行っているか	C	当事業所からの積極的な働きかけはしていないものの、要請があれば対応することも可能
	23	児童発達支援センターなどのセンター機関と連携し、助言や研修を行っているか	B	連携と言えるほどでは無いが、機会あれば研修に参加したりなど行っている
	24	放課後児童クラブや児童館との交流や、児童と活動する機会はあるか	C	直接に交流する機会は現在無い状況だが、児童が個別で交流をしていることもある
	25	各協議会などへ積極的に参加しているか	C	現時点では積極的な参加が出来ず、機会を得られていない
	26	日頃から児童の様子を保護者と伝えあい、状況や課題について共有しているか	A	送迎時の面会機会や伝達ノートなどを活用している
	27	家庭での療育を図る観点から、ペアレントトレーニングなどの支援を行っているか	C	積極的な働きかけは行っていないものの、ご要望によっては支援の準備はできている

保護者への説明責任など	28	運営規定、支援内容、利用者負担などについて丁寧な説明を行っているか	A	見学时あるいは利用契約時に詳細の説明を行っている
	29	保護者からの悩み相談に対し、真摯に助言と支援を行っているか	A	受けた相談については、是非を含め現状を勘案しながら相談内容に向き合っています
	30	保護者会の開催などにより、保護者同士の連携を支援しているか	C	現実的な状況を踏まえ、機会の模索を図っているが、現在のところ実施できていない
	31	苦情などに対し、対応体制を整備し、迅速丁寧に適切に対応しているか	A	内容を真摯に受け止め、解決に向けた対応を迅速丁寧にやっていく体制を整え、備えている
	32	定期的な会報などにより、活動概要や行事予定などの情報を発信しているか	A	会報の発行は出来ていないが、月単位の活動予定を配布したり、活動中の写真、伝達ノートなどを活用している
	33	個人情報への配慮は徹底しているか	A	研修の実施など、厳守・配慮・重要性への意識を保つよう心掛けている
	34	障害のある児童や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	B	イラストカードや短文での説明など、配慮を行っているが、まだまだ充分とは言いきれない
	35	事業所の行事に地域住民が参加するなど地域に開かれた事業運営を行っているか	B	積極的には参加勧誘を行っていないが、基本的にはオープンな事業方針としている
非常時の対応など	36	怪我、病気など発生時の対応マニュアルは構築されているか	A	状況の悪化を防ぐため、どのように対応していくかを事前に職員間で周知し、マニュアル作成を行っている
	37	緊急時対応、防犯、防災など各マニュアルを策定し職員などに周知しているか	A	マニュアルを作成し、いつでも閲覧できるように配置の上、職員間で話し合い、周知を行っている
	38	非常災害に備え、定期的に避難訓練などの必要な訓練を実施しているか	B	隣接の他事業所との合同訓練が必要だが未実施、実施に向けた調整を図っている
	39	虐待防止の研修など、職員の研修機会に努め、適切な対応をしているか	A	外部の研修会に参加し、職員研修会などで内容の還元や行政通達の伝達、周知を行っている
	40	児童の身体拘束について、組織的な決定の下、保護者の理解を得て、支援計画に記載をしているか	B	可能性のある児童の保護者への説明、理解・承認書などを得たりしているものの、記録記載などで充分とは言えない点もあり、改善を図っていく
	41	食物アレルギーのある児童について、医師の指示書に基づく対応がされているか	A	直接に指示書を閲覧していないが、保護者から対処法や検査結果データなどを提供いただき対応している
	42	ヒヤリハット事例集を作成し、事業所内で共有、再発防止に努めているか	A	事例発生後に職員間で話し合い、事例記録をファイリングした上で常時閲覧出来るようにしている